

事業№	事業名	在宅介護支援センター運営費				担当部署	部名	福祉保健部
							課名	長寿介護課
074							電話	82-1952
事業期間		開始年度	平成 17 年度	終了年度	—	予算科目	会計	一般会計
総合計画	施策の大綱	第 1 部 健康でやさしさあふれるまち					款	民生費
	政策名 (章)	第 1 章 元気な声が響くまちづくり					項	社会福祉費
	施策名 (節)	第 3 節 いきいき長寿社会の推進					目	老人福祉費
	実施計画掲載	無	頁	個別計画				
根拠法令・要綱等		射水市補助金等交付規則						

事業目的	対象	交付先	社会福祉法人 射水市社会福祉協議会	
	意図	補助目的	行政と連携し、地域福祉の充実を図る。	
事業内容	手段	主な活動	介護保険制度の普及、相談業務、介護予防事業、ケアプランの作成、安否確認等を行う。	

補助金	類型区分	団体運営費補助		事業費補助		施設等整備費補助		○	政策的補助
		格差是正補助		利子補給		その他 (		)	
	補助内容	補助区分	内容 (基準単価・補助率等)				上限額		
		定額補助	相談業務に応じたり、ケアプランを作成したりするケアマネジャーの人件費				千円		
		定率補助							
○	その他					※上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載			

施設管理運営	施設名				管理形態			
	構造・階数				指定管理者名			
	建築年度		改修年度		類似施設状況			
	耐震の有無		延床面積		民間施設状況			
	設備・規模							

施設等整備	総事業費		財源内訳 (千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	整備内容	平成21年度		平成22年度		平成23年度		

その他	特記事項等	
-----	-------	--

事業№	事業名	在宅介護支援センター運営費	担当部署	部名	福祉保健部
074				課名	長寿介護課
				電話	82-1952

成果指標	指標名	単位	H21年度実績	H22年度			H23年度目標		
				目標	実績	達成率			
成果指標	利用者数 ※設定できる場合 ()	人							
	相談件数	件	61	70	63	90.0	70		
	要介護認定調査	件	194	200	247	123.5	250		

事業費・人件費	事業費		平成21年度決算	平成22年度決算	伸率	平成23年度予算
	事業コスト	直接事業費	4,657 千円	3,338 千円	▲ 28.3	1,900 千円
		(補助金交付件数)	(1 件)	(1 件)	0.0	(1 件)
		人件費	204 千円	204 千円	0.0	204 千円
		退職手当引当金相当額	30 千円	30 千円	0.0	30 千円
	財源内訳	事業コスト計	4,891 千円	3,572 千円	▲ 27.0	2,134 千円
		国県支出金	千円	千円		千円
		その他	千円	千円		千円
		一般財源	4,891 千円	3,572 千円	▲ 27.0	2,134 千円
		当該事務従事職員数	0.03 人	0.03 人	0.0	0.03 人
		利用者1人当たりコスト	—	—		
		うち一般財源ベース分	—	—		

評価項目	点数	説明
妥当性	4	高齢社会が進む中、地域包括支援センターの協力機関として市民の相談窓口を担い、介護保険制度の普及やケアプランの作成を行う在宅介護支援センターは公益性がある。
有効性	4	市民にとって身近な窓口として相談や訪問が可能である。 また、地域に出向いての介護予防教室等も積極的に展開している。
効率性	4	補助の内容は人件費補助であり、事業収入も限られていることから現行水準を引き下げることが困難である。

評価結果 (1次)	A	現行どおり補助することが適当	評価結果 (2次)	
評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)			評価委員会のコメント	
地域包括支援センターの協力機関として市民の相談業務等を実施しているため今後も支援事業として継続する。				

事業№	事業名	老人福祉施設整備事業				担当部署	部名	福祉保健部
		(高齢者福祉施設費)					課名	長寿介護課
075							電話	82-1952
事業期間		開始年度	平成 17 年度	終了年度	—	予算科目	会計	一般会計
総合計画	施策の大綱	第 1 部 健康でやさしさあふれるまち					款	民生費
	政策名(章)	第 1 章 元気な声が響くまちづくり					項	社会福祉費
	施策名(節)	第 3 節 いきいき長寿社会の推進					目	老人福祉費
実施計画掲載		無	頁	個別計画				
根拠法令・要綱等		射水市老人福祉施設整備補助金交付要綱						

事業目的	対象	交付先	老人福祉法第20条の4に規定する養護老人ホーム、同法第20条の5に規定する特別養護老人ホーム及び同法第20条の3に規定する老人短期入所施設のうち特別養護老人ホームに併設されるもの
	意図	補助目的	自宅での生活が困難になった高齢者が介護サービス等を受けながら安心して生活を送ることができるよう必要な老人福祉施設の施設整備を推進するとともに、老人福祉施設の生活環境の改善を図る。
事業内容	手段	主な活動	・特別養護老人ホーム七美ことぶき苑建設・増床事業 ・特別養護老人ホーム射水万葉苑建設・増床事業 ・特別養護老人ホームこぶし園建設及び用地取得事業 ・特別養護老人ホームエスポワールこすぎ増設・設備事業 ・特別養護老人ホーム大江苑建設・設備事業 ・特別養護老人ホーム太閤の杜新設・設備事業 ・特別養護老人ホームすずらん建設に伴う借入金償還 ・射水市小杉在宅支援センター池多及びショートステイ増床建設・設備事業
			・軽費老人ホームケアハウス万葉建設事業 ・ケアハウス海王建設 ・中太閤山18丁目用地取得造成事業

補助金	類型区分	団体運営費補助		事業費補助	○ 施設等整備費補助	政策的補助
		格差是正補助		利子補給	その他 ()	
	補助内容	補助区分	内容 (基準単価・補助率等)			上限額
		定額補助	借入金償還額の一部補助			千円
		定率補助				
○ その他	※上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載					

施設管理運営	施設名				管理形態	
	構造・階数				指定管理者名	
	建築年度		改修年度		指定管理期間	
	耐震の有無		延床面積		類似施設状況	
	設備・規模					

施設等整備	総事業費		財源内訳 (千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	整備内容	平成21年度	平成22年度	平成23年度				

その他	特記事項等	
-----	-------	--

事業№	事業名	老人福祉施設整備事業	担当部署	部名	福祉保健部
075		(高齢者福祉施設費)		課名	長寿介護課
				電話	82-1952

成果指標	指標名	単位	H21年度実績	H22年度			H23年度		
				目標	実績	達成率	目標		
	利用者数 ※設定できる場合 ()	人							
	補助金交付件数	件	17	16	16	100.0	14		

事業費・人件費	事業費	平成21年度決算	平成22年度決算	伸率	平成23年度予算
	直接事業費	212,530 千円	207,255 千円	▲ 2.5	188,179 千円
	(補助金交付件数)	(17 件)	(16 件)	▲ 5.9	(14 件)
	人件費	340 千円	340 千円	0.0	340 千円
	退職手当引当金相当額	50 千円	50 千円	0.0	50 千円
	事業コスト計	212,920 千円	207,645 千円	▲ 2.5	188,569 千円
	国県支出金	千円	千円		千円
	その他	千円	千円		千円
	一般財源	212,920 千円	207,645 千円	▲ 2.5	188,569 千円
	当該事務従事職員数	0.05 人	0.05 人	0.0	0.05 人
	利用者1人当たりコスト	—	—		
	うち一般財源ベース分	—	—		

評価項目	点数	説明
妥当性	4	老人福祉施設の建設・増築等に係る償還補助事業であり、公益性がある。
有効性	4	老人福祉施設の整備を推進するために必要であり、かつ有効である。
効率性	3	目的が類似する補助金が県事業にもあるが、特に問題はない。

評価結果 (1次)	A	現行どおり補助することが適当	評価結果 (2次)	
評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)			評価委員会のコメント	
常時介護を要し、老人福祉施設利用が必要な方のために、非常に必要性の高い事業であり、今後も引き続き整備を行っていく必要がある。				

事業№	事業名	足洗老人福祉センター				担当部署	部名	福祉保健部
		(高齢者福祉施設費)					課名	長寿介護課
076							電話	82-1952
事業期間		開始年度	平成 17 年度	終了年度	—	予算科目	会計	一般会計
総合計画	施策の大綱	第 1 部 健康でやさしさあふれるまち					款	民生費
	政策名(章)	第 1 章 元気な声が響くまちづくり					項	社会福祉費
	施策名(節)	第 3 節 いきいき長寿社会の推進					目	老人福祉費
実施計画掲載		無	頁	個別計画				
根拠法令・要綱等		射水市老人福祉センター条例・射水市老人福祉センター条例施行規則						

事業目的	対象	誰を・何を	射水市市民 (60歳以上) 及び介添え者
	意図	設置目的	高齢者の各種相談業務、健康増進、教養の向上、高齢者の健康で明るい生活に資する。
事業内容	手段	主な活動	・民間資本の導入 ・老人に対する福祉の増進を図るための事業の実施 ・施設の利用、許可等に関する業務 ・施設の運営及び維持管理に関する業務 ・施設の安全対策に関する業務 ・浴場事業

補助金	類型区分			
	補助内容	補助区分	内容 (基準単価・補助率等)	上限額

施設管理運営	施設名	足洗老人福祉センター			管理形態	指定管理			
					指定管理者名	社会福祉法人 射水市社会福祉協議会			
	構造・階数	鉄筋コンクリート造平屋建 (一部2階建)			指定管理期間	平成 22 年度 ~ 平成 24 年度			
	建築年度	昭和 53 年度	改修年度	平成 19 年度	類似施設状況	県施設	—	市施設	2
	耐震の有無	有	延床面積	1,405.83 m ²	民間施設状況	なし			
	設備・規模	1階 健康相談室、静養室、機能回復訓練室、大広間 (教養娯楽室、老人集会室) 等 2階 会議室、静養室等							

施設等整備	総事業費		財源内訳 (千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
		平成21年度	平成22年度	平成23年度				
	整備内容							

その他	特記事項等	
-----	-------	--

事業№	事業名	足洗老人福祉センター (高齢者福祉施設費)	担当部署	部名	福祉保健部
076				課名	長寿介護課
				電話	82-1952

指 標 名		単位	H21年度 実績	H22年度			H23年度 目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
成果指標	利用者数 ※設定できる場合 (利用者数)	人	50,980	53,000	52,684	99.4	53,000	54,000	100.0
活動指標	開館日数	日	295	308	308	100.0	310		

事業費・人件費	事業費		平成21年度決算	平成22年度決算	伸率	平成23年度予算
	事業コスト	直接事業費	12,772 千円	13,038 千円	2.1	13,038 千円
		人件費	1,088 千円	1,088 千円	0.0	1,088 千円
		退職手当引当金相当額	160 千円	160 千円	0.0	160 千円
		減価償却費相当額	8,194 千円	8,194 千円	0.0	8,194 千円
		事業コスト計	22,214 千円	22,480 千円	1.2	22,480 千円
	財源内訳	国県支出金	千円	千円		千円
		施設使用料	千円	千円		177 千円
		その他	187 千円	182 千円	▲ 2.7	千円
		一般財源	22,027 千円	22,298 千円	1.2	22,303 千円
	当該事務従事職員数		0.16 人	0.16 人	0.0	0.16 人
	利用者 1 人当たりコスト		0.44 千円	0.43 千円	▲ 2.1	
	うち一般財源ベース分		0.43 千円	0.42 千円	▲ 2.0	

評価項目	点数	説明
必要性	3	老人福祉法に基づく施設であり市内に居住する60歳以上及び老人福祉事業に関係するものが利用しており高齢者の健康で明るい生活に資する必要な施設である。
有効性	4	高齢者に対しての各種相談業務、健康増進施設であり介護予防への貢献度が高い。
達成度	4	修繕工事等により開館日数が毎年、異なるが1日当りの利用者数は目標値を達成している。 また、次年度の目標に向けて順調に推移している。
効率性	4	指定管理により事業コストが軽減している。 また、事業内容に創意工夫がなされている。

評価結果 (1次)	A	現行どおり管理運営を行うことが適当	評価結果 (2次)	
評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)			評価委員会のコメント	
今後も高齢者ニーズ等の把握に努め、引き続き事業内容の充実を図り、指定管理者制度を継続する。				

事業№	事業名	小杉ふれあいセンター運営費				担当部署	部名	福祉保健部
		(高齢者福祉施設費)					課名	長寿介護課
077							電話	82-1952
事業期間		開始年度	平成 17 年度	終了年度	—	予算科目	会計	一般会計
総合計画	施策の大綱	第 1 部 健康でやさしさあふれるまち					款	民生費
	政策名(章)	第 1 章 元気な声が響くまちづくり					項	社会福祉費
	施策名(節)	第 3 節 いきいき長寿社会の推進					目	老人福祉費
実施計画掲載		無	頁	個別計画				
根拠法令・要綱等		射水市小杉ふれあいセンター条例・射水市小杉ふれあいセンター条例施行規則						

事業目的	対象	誰を・何を	市内に居住又は事業所に勤務する市民
	意図	設置目的	市民の福祉の増進、健康保持及びコミュニティづくりを図るため
事業内容	手段	主な活動	・浴場事業 ・趣味、教養、レクリエーション、高齢者生きがい講座(陶芸教室、ダンス教室、民謡踊り教室)

補助金	類型区分			
	補助内容	補助区分	内容(基準単価・補助率等)	上限額

施設管理運営	施設名	小杉ふれあいセンター			管理形態	市直営			
	構造・階数	鉄骨造平屋建			指定管理者名	—			
	建築年度	昭和 63 年度	改修年度	年度	指定管理期間	年度 ~ 年度			
	耐震の有無	有	延床面積	1,079.30 m ²	類似施設状況	県施設	—	市施設	2
	設備・規模	本館(904.8m ²)・陶芸室(132.0m ²)・温室(42.5m ²)							

施設等整備	総事業費	財源内訳(千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	整備内容	平成21年度		平成22年度		平成23年度	

その他	特記事項等	
-----	-------	--

事業№	事業名	小杉ふれあいセンター運営費 (高齢者福祉施設費)	担当部署	部名	福祉保健部
077				課名	長寿介護課
				電話	82-1952

指 標 名		単位	H21年度 実績	H22年度			H23年度 目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
成果指標	利用者数 ※設定できる場合 (利用者数)	人	26,695	27,000	27,477	101.8	27,000	28,000	100.0
活動指標	開館日数	日	295	310	286	92.3	310		

事業費・人件費	事業費		平成21年度決算	平成22年度決算	伸率	平成23年度予算
	事業コスト	直接事業費	25,112 千円	21,360 千円	▲ 14.9	22,457 千円
		人件費	14,688 千円	7,888 千円	▲ 46.3	7,888 千円
		退職手当引当金相当額	2,160 千円	1,160 千円	▲ 46.3	1,160 千円
		減価償却費相当額	8,961 千円	8,961 千円	0.0	8,961 千円
		事業コスト計	50,921 千円	39,369 千円	▲ 22.7	40,466 千円
	財源内訳	国県支出金	千円	千円		千円
		施設使用料	3,085 千円	2,077 千円	▲ 32.7	2,120 千円
		その他	175 千円	75 千円	▲ 57.1	千円
		一般財源	47,661 千円	37,217 千円	▲ 21.9	38,346 千円
		当該事務従事職員数	2.16 人	1.16 人	▲ 46.3	1.16 人
		利用者 1 人当たりコスト	1.91 千円	1.43 千円	▲ 24.9	
		うち一般財源ベース分	1.79 千円	1.35 千円	▲ 24.1	

評価項目	点数	説明
必要性	4	市民の福祉の増進、健康保持及びコミュニティづくりを図るための必要な施設である。
有効性	3	・趣味、教養、レクリエーション、高齢者生きがい講座(陶芸教室、ダンス教室、民謡踊り教室)を実施しており介護予防への貢献度が高い。
達成度	4	利用者は年々、増大しており、次年度の目標に向けて順調に推移している。
効率性	3	事務の改善、契約方法の見直しにより効率的に運営している。 また、指定管理制度を導入できれば更なるコストの削減が図られる。

評価結果 (1次)	A	現行どおり管理運営を行うことが適当	評価結果 (2次)	
評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)			評価委員会のコメント	
今後も市民のニーズ等の把握に努め、健康保持、コミュニティづくり等の事業内容の充実を図り管理運営を行う。				

事業№	事業名	中太閤山18丁目老人福祉施設周辺管理費				担当部署	部名	福祉保健部
		(高齢者福祉施設費)					課名	長寿介護課
078							電話	82-1952
事業期間		開始年度	平成 17 年度	終了年度	—	予算科目	会計	一般会計
総合計画	施策の大綱	第 1 部 健康でやさしさあふれるまち					款	民生費
	政策名(章)	第 1 章 元気な声が響くまちづくり					項	社会福祉費
	施策名(節)	第 3 節 いきいき長寿社会の推進					目	老人福祉費
	実施計画掲載	無	頁	個別計画				
根拠法令・要綱等		地方自治法						

事業目的	対象	誰を・何を	財団法人 射水市公園等管理業務公社					
	意図	どのような状態に	害虫等の発生の予防、防犯対策の一環として地域住民の安心・安全な住環境に資する					
事業内容	手段	どのような方法で	・除草剤散布 ・草刈り ・集草運搬					

補助金	類型区分				
	補助内容	補助区分	内容(基準単価・補助率等)		上限額

施設管理運営	施設名				管理形態	
					指定管理者名	
	構造・階数				指定管理期間	
		建築年度	改修年度		類似施設状況	
	耐震の有無	延床面積		民間施設状況		
	設備・規模					

施設等整備	総事業費		財源内訳(千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	整備内容	平成21年度		平成22年度		平成23年度		

その他	特記事項等	
-----	-------	--

事業№	事業名	中太閤山18丁目老人福祉施設周辺管理費 (高齢者福祉施設費)	担当部署	部名	福祉保健部
078				課名	長寿介護課
				電話	82-1952

	指 標 名	単位	H21年度 実績	H22年度			H23年度 目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
成果指標	利用者数 ※設定できる場合 ()	人							
	除草パトロール	回	2	4	4	100.0	4	4	
活動指標	除草回数	回	2	2	2	100.0	2		

	事業費		平成21年度決算	平成22年度決算	伸率	平成23年度予算
	事業費	事業コスト				
事業費・人件費	直接事業費		323 千円	356 千円	10.2	404 千円
	人件費		204 千円	204 千円	0.0	204 千円
	退職手当引当金相当額		30 千円	30 千円	0.0	30 千円
	事業コスト計		557 千円	590 千円	5.9	638 千円
	国県支出金		千円	千円		千円
	その他		千円	千円		千円
	一般財源		557 千円	590 千円	5.9	638 千円
	当該事務従事職員数		0.03 人	0.03 人	0.0	0.03 人
	利用者1人当たりコスト		—	—		
	うち一般財源ベース分		—	—		

評価項目	点数	説 明
必要性	4	市民の快適な生活を守りまた、環境保持のため必要な事業である。
有効性	4	地域の生活環境面で貢献している。
達成度	3	次年度の目標に向けて順調に推移している。
効率性	3	他の実施主体を活用することによりコストの低減の可能性がある。

評価結果 (1次)	A	現行(計画)どおり事業を進めることが適当	評価結果 (2次)	
評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)			評価委員会のコメント	
他の実施主体の活用も検討するが業務委託は継続する必要がある。				

事業№	事業名	老人保護措置費				担当部署	部名	福祉保健部
							課名	長寿介護課
079						電話	82-1952	
事業期間		開始年度	平成 17 年度	終了年度	—		会計	一般会計
総合計画	施策の大綱	第 1 部 健康でやさしさあふれるまち				予算科目	款	民生費
	政策名(章)	第 1 章 元気な声が響くまちづくり					項	社会福祉費
	施策名(節)	第 3 節 いきいき長寿社会の推進					目	老人福祉費
	実施計画掲載	無	頁	個別計画				
根拠法令・要綱等		老人福祉法						

事業目的	対象	誰を・何を	心身の状況、置かれている環境の状況等を総合的に勘案して、在宅において生活することが困難であると認められ、経済的事項の要件を満たす65歳以上の者
	意図	どのような状態に	安心、安全に暮らせる場所を確保する
事業内容	手段	どのような方法で	養護老人ホームへの措置入所

補助金	類型区分			
	補助内容	補助区分	内容(基準単価・補助率等)	上限額

施設管理運営	施設名			管理形態	
	構造・階数			指定管理者名	
	建築年度	改修年度		指定管理期間	
	耐震の有無	延床面積		類似施設状況	
	民間施設状況				
	設備・規模				

施設等整備	総事業費		財源内訳(千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	整備内容	平成21年度	平成22年度		平成23年度			

その他	特記事項等	
-----	-------	--

事業№	事業名	老人保護措置費	担当部署	部名	福祉保健部
079			課名	長寿介護課	
			電話	82-1952	

	指標名	単位	H21年度実績	H22年度			H23年度目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
成果指標	利用者数 ※設定できる場合 (入所者数)	人	20	20	20	100.0	20	20	100.0
活動指標	申請者数	人	3	3	3	100.0	3		

事業費・人件費	事業費		平成21年度決算	平成22年度決算	伸率	平成23年度予算
	事業コスト	直接事業費	34,587 千円	39,381 千円	13.9	41,073 千円
		人件費	884 千円	884 千円	0.0	884 千円
		退職手当引当金相当額	130 千円	130 千円	0.0	130 千円
		事業コスト計	35,601 千円	40,395 千円	13.5	42,087 千円
	財源内訳	国県支出金	千円	千円		千円
		その他	千円	千円		千円
		一般財源	35,601 千円	40,395 千円	13.5	42,087 千円
		当該事務従事職員数	0.13 人	0.13 人	0.0	0.13 人
		利用者1人当たりコスト	1,780.05 千円	2,019.75 千円	13.5	
		うち一般財源ベース分	1,780.05 千円	2,019.75 千円	13.5	

評価項目	点数	説明
必要性	4	老人福祉法に基づいた事業であり、事業継続の必要がある。
有効性	4	有効に事業が活用されている。
達成度	4	入所希望者で、措置の対象となる方は、措置入所されている。
効率性	4	国の基準単価に基づいている。

評価結果 (1次)	A	現行(計画)どおり事業を進めることが適当
評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)		
老人福祉法に基づいた事業であり、国で定められた基準に従い、今後も事業を継続していく。		

評価結果 (2次)	
評価委員会のコメント	